

コニカミノルタグループ
2011年3月期
第1四半期決算説明会

2010年7月30日
コニカミノルタホールディングス株式会社
常務執行役 安藤吉昭

2010年度第1四半期 業績ハイライト



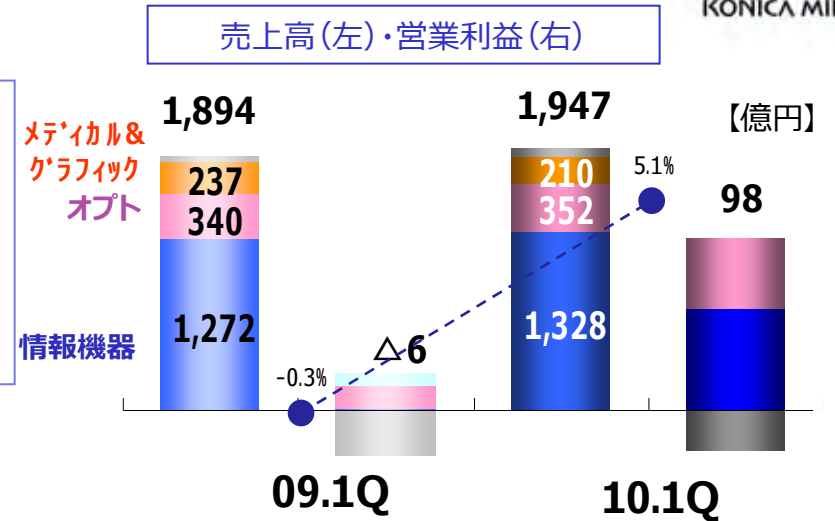
		【億円】				
		10.1Q	09.1Q	YoY	上半期 公表値	進捗率
売上高		1,947	1,894	52	4,000	49%
営業利益		98	△ 6	104	210	47%
	(営業利益率)	5.1%	-0.3%		5.3%	
のれん償却費		22	24	△ 2	-	-
のれん償却前営業利益		120	18	102	-	-
	(のれん償却前営業利益率)	6.2%	0.9%			
当期純利益		35	3	32	80	44%
	(当期純利益率)	1.8%	0.2%		2.0%	
FCF		△ 13	51	△ 64	-	-
為替レート	[円]					
	USD	92.01	97.32	△ 5.31	90.00	-
	Euro	116.99	132.57	△ 15.58	120.00	-

2010年度第1四半期 業績の総括:グループ連結



▶ 売上高
 ◆ YoY : + 3 % (為替影響除く + 8 %)

▶ 営業利益
 ◆ YoY : + 104億円 (為替影響除く + 146億円)



【前年同期比】

- 情報機器事業、オプト事業を中心に主力製品の販売数量は伸長。前年度後半からの堅調なモメンタムを維持し、売上高は前年同期比で増収。
- 利益面では、大底であった前年同期から営業利益以下大幅に回復。

【上期公表値に対しての進捗】

- 1Q後半よりユーロ安の影響を受けるが、上期公表値クリアに向けて、上振れ基調の進捗。
- 但し、情報機器事業では、新製品バックオーダーや製品ミックスの変化により、一部利益の実現機会を逸する。

<参考>2010年度第1四半期業績 主要3セグメント



	【億円】				
売上高	10.1Q	09.1Q	YoY	上半期公表値	進捗率
情報機器	1,328	1,272	56	2,690	49%
オプト	352	340	12	710	50%
メディカル&グラフィック	210	237	△ 27	490	43%
グループ計	1,947	1,894	52	4,000	49%
営業利益	10.1Q	09.1Q	YoY	上半期公表値	進捗率
情報機器	76	2	74	190	40%
(営業利益率)	5.8%	0.2%		7.1%	
オプト	51	17	34	90	57%
(営業利益率)	14.5%	4.9%		12.7%	
メディカル&グラフィック	△ 1	8	△ 9	5	-
(営業利益率)	-0.4%	3.5%		1.0%	
グループ計	98	△ 6	104	210	47%
(営業利益率)	5.1%	-0.3%		5.3%	

情報機器事業の概況

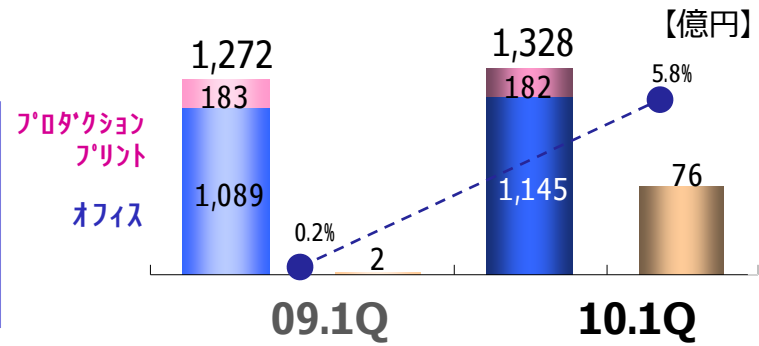


販売数量は対前年大幅伸長し、順調に進捗。
但し、製品ミックスは一時的に悪化。

➡ 売上高
◆ YoY : +4% (為替影響除く +11%)

➡ 営業利益
◆ YoY : +74億円 (為替影響除く +108億円)

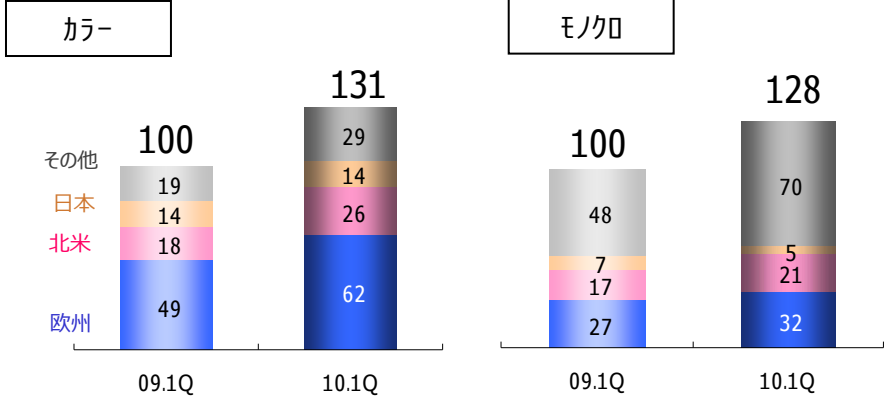
売上高(左)・営業利益(右)推移



オフィスMFP販売台数 YoY : +29% (カラー:+31% モノクロ:+28%)

※オフィスMFP 地域別販売台数(指数) 参考:10.1QオフィスMFPカラー化率:37%

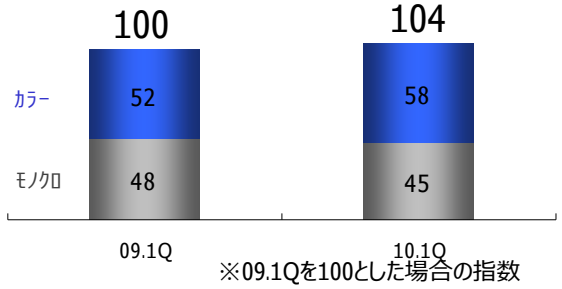
- カラーMFPおよびモノクロ新興国向けモデル中心に数量が拡大。
 - ・ カラーMFP: 国内を除く全ての地域で大幅伸長。
(欧州:+28% 北米:+42% 日本:0% 他地域:+50%)
 - ・ モノクロMFP: 新興国専用モデルが牽引。
(欧州:+18% 北米:+19% 日本:△25% 他地域:+45%)



● 新製品の一部分供給遅延に対応した切換え対象旧製品でのつなぎ販売により製品ミックスが一時的に悪化。

ノンハード売上 YoY 円ベース: △2% 為替排除後:+4%

※ノンハード売上(為替影響排除後の指数)



● 為替影響を除くと、カラー出力が牽引し、トータルでも伸長。

情報機器事業 営業利益増減(前年同期比)

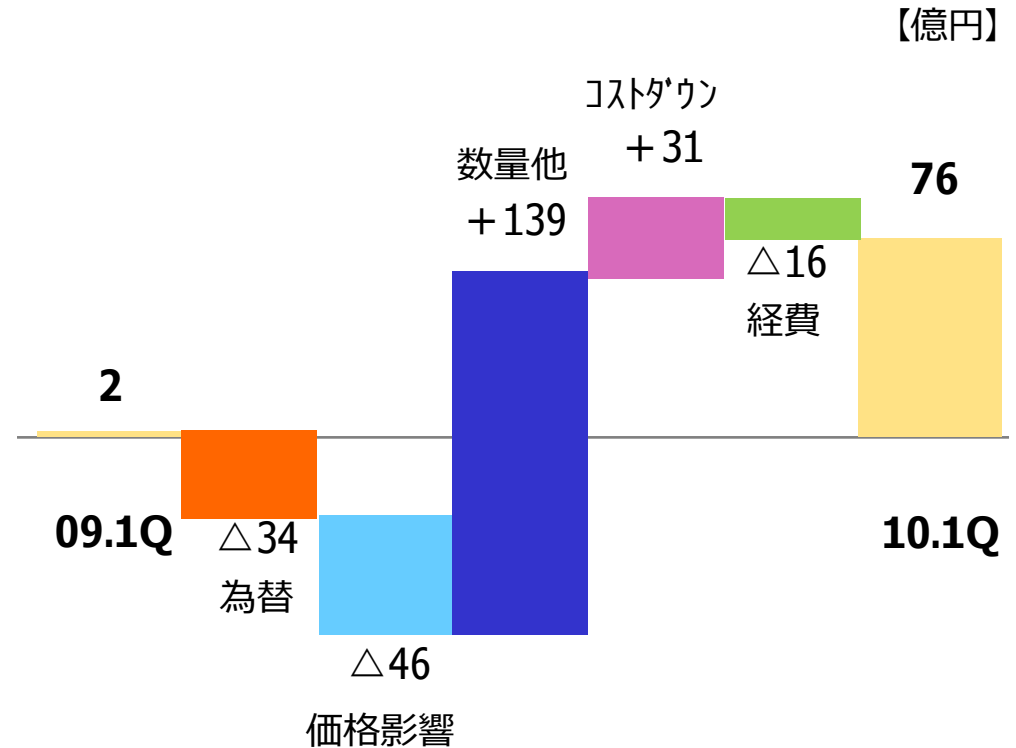


悪化要因

- 為替、特に1-0安による影響。
- 経費増:物量増に伴う物流費増。
(バックオーダー対応によるAir費増など)

改善要因

- 売上増にともなう利益増。
- カラーMFP新製品展開に伴う利益率改善。
- 新製品展開、調達コストダウンによる製造変動費削減効果。



オプト事業の概況



主力製品の販売拡大、画像入出力分野の採算改善で
営業利益率は15%に上昇。

売上高	オプト全体	TACフィルム	メモリー	画像入出力
◆YoY :	+3%	+7%	+46%	△22%

営業利益
◆YoY : +207%

TACフィルム

●薄膜・広幅品が牽引し、総量が大幅伸長。

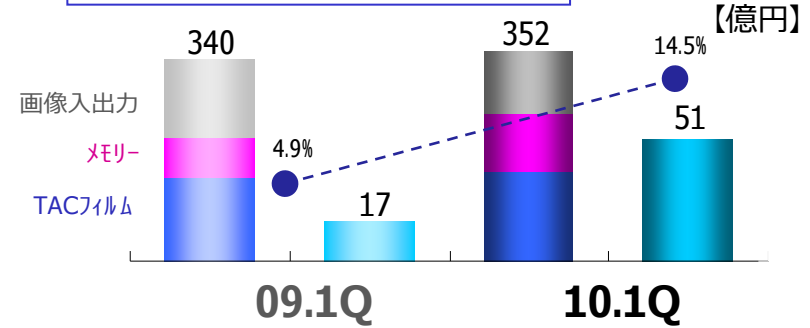
ガラスHD基板

●市場回復と製品構成変化で、売上、数量ともに伸長。

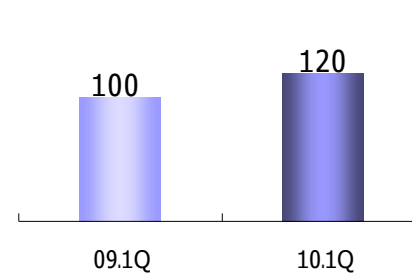
光ピックアップレンズ*

●BDは再生系アプリケーション拡大にともない、
レンズのプラスチック化が進展、数量は大幅伸長。

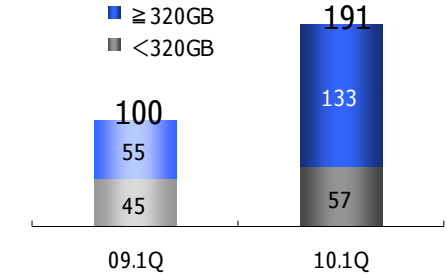
売上高(左)・営業利益(右)推移



※TAC販売数量

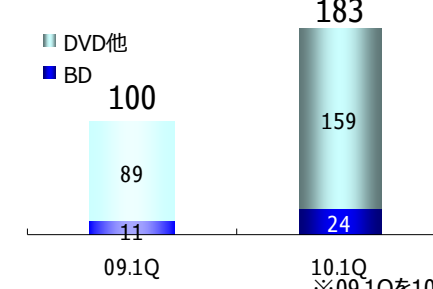


※ガラスHD基板販売数量

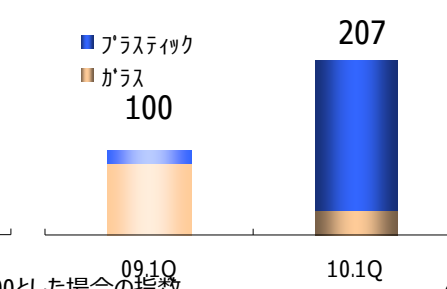


※光ピックアップレンズ*販売数量

※光ピックアップレンズ*全体



※BD用



オプト事業 営業利益増減(前年同期比)



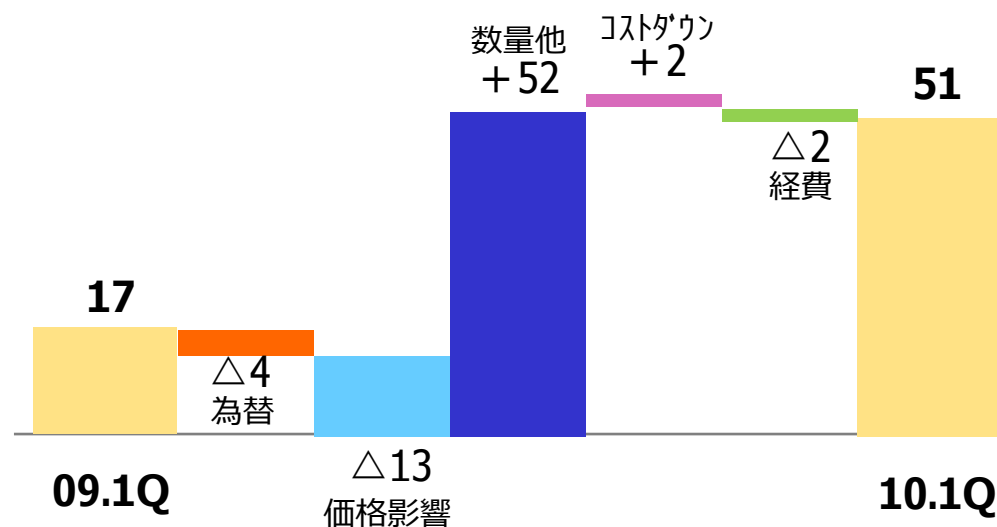
【億円】

悪化要因

- 為替:主にガラスHD基板に影響
- 価格影響:主にTACフィルムに影響
- 経費:画像入出力分野の経費削減あるが、
TACフィルム新工場稼働による償却費増で微増。

改善要因

- 数量他:薄膜・広幅TACフィルムの数量増。
ガラスHD基板の数量増など。
- コストダウン:画像入出力分野での部品や生産コスト削減による。



2010年度第2四半期以降の取り組み (情報機器事業)



堅調な販売モメンタムの中で、新製品の確実な供給により、バックオーダーを解消。製品ミックスおよび収益性の改善を図る。

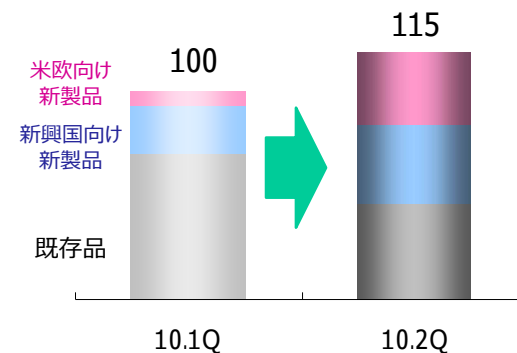
●米欧向けモノクロMFP新製品投入による販売数量拡大

- ・OPSアプローチによる販売強化
- ・バーティカルマーケティング、ソリューションの強化
- ・大口顧客の獲得

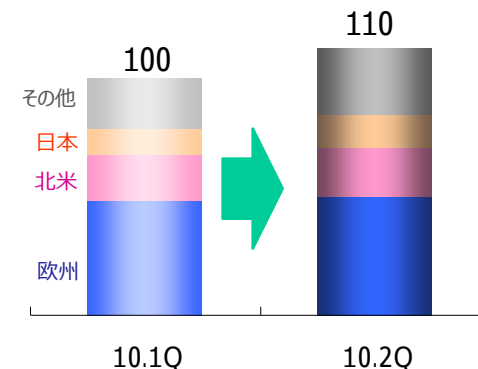
●アジア・新興国中心にカラーMFPの販売拡大。

●販売拡大に重点をおいたメリハリある経費管理の徹底

※オフィス向けモノクロMFP販売台数



※オフィス向けカラーMFP販売台数



※10.1Qを100とした場合の指数



bizhub423/363/283/223 (米欧向け機能充実モデル)



bizhub184/164 (新興国専用モデル)

プロダクションプリント 新製品



KONICA MINOLTA

プロフェッショナル向け最上位機種に加え、ライトプロダクション領域でも新シリーズを投入。

販路開拓を積極的に展開し、業容拡大を図る。

● プロフェッショナル向けフラッグシップ機

- 印刷のデジタル化を加速する高い総合性能
- オフセット印刷に迫る高画質、高精細 (デジタルトナーHD+)
- 高生産性 (耐久性)、画像安定性



● ライトプロダクション領域で最高クラスの画質、画像安定性

- 初期出力から最終出力まで均一に高画質を提供
- 最上位機種同様、オフセット並みの高画質、高精細を実現
- くるみ製本含めた豊富なインライン製本機能 (オプション)
- 給紙性能向上による高級紙対応

bizhub PRESS C7000



bizhub PRESS C6000



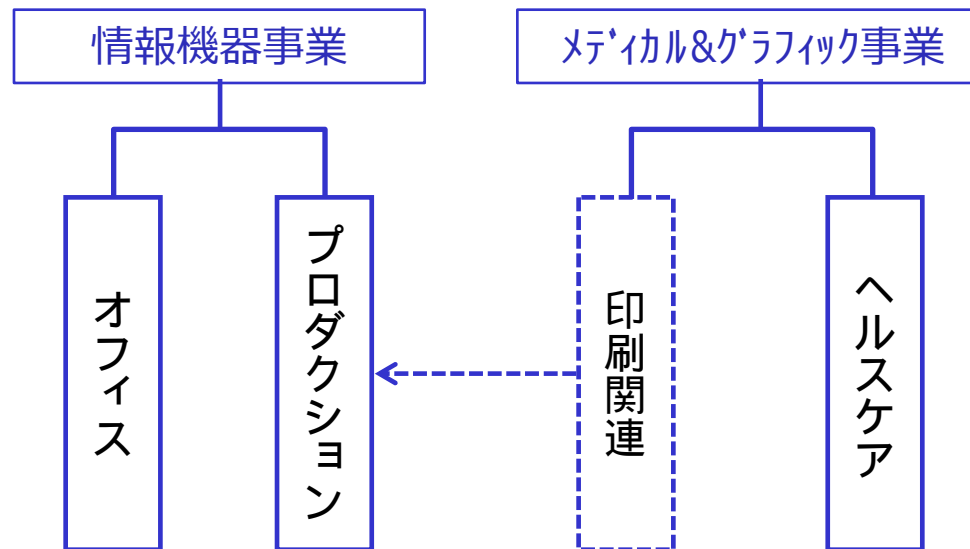
プロダクションプリント事業強化に向けたグループ再編



組織再編の狙い:

商業印刷市場においてメディカル&グラフィック事業の印刷部門が有する高い知見と製品品質、及びデジタル印刷システムに関する事業ノウハウを情報機器事業のプロダクションプリント部門に統合・集約。

プロダクションプリント市場における一層の競争力強化と業容拡大を目指す。



※組織再編： 2010年10月1日予定

2010年度業績予想



[億円]

	2010年度		2009年度		YoY	
	上半期	通期	上半期	通期	上半期	通期
売上高	4,000	8,300	3,933	8,045	67	255
営業利益	210	500	92	440	118	60
(営業利益率)	5.3%	6.0%	2.3%	5.5%		
のれん償却費	45	90	48	92	△ 3	△ 2
のれん償却前営業利益	255	590	140	532	115	58
(のれん償却前営業利益率)	6.4%	7.1%	3.6%	6.6%		
当期純利益	80	200	35	169	45	31
(当期純利益率)	2.0%	2.4%	0.9%	2.1%		
FCF		200	321	729		△ 529
1株当たり配当金 [円]		15.0	7.5	15.0		
為替レート [円]	USD	90.00 ※	95.49	92.85		
	Euro	110.00	133.16	131.15		

1円あたり為替感応度(年間):	USD	Euro
売上高	25億円	13億円
営業利益	3億円	7億円

※第2四半期以降の前提レート

参 考 情 報

連結業績



				[億円]	
	2010年度 1Q	2009年度 1Q	YoY	2010年度 上半期予想※	進捗率
売上高	1,947	1,894	53	4,000	49%
売上総利益	884	797	87		
(売上総利益率)	45.4%	42.1%			
営業利益	98	△ 6	104	210	47%
(営業利益率)	5.0%	-0.3%		5.3%	
経常利益	64	6	58	190	
税前利益	22	4	18	150	
四半期純利益	35	3	32	80	44%
(四半期純利益率)	1.8%	0.2%		2.0%	
EPS [円]	6.58	0.56			
設備投資額	111	75	36		
減価償却費	139	154	△ 15		
研究開発費	171	177	△ 5		
FCF	△ 13	51	△ 64		
為替レート [円]					
USD	92.01	97.32	△ 5.31		
Euro	116.99	132.57	△ 15.58		

※上半期予想：2010年5月13日公表

セグメント別売上高/営業利益



売上高				[億円]	
	2010年度 1Q	2009年度 1Q	YoY	2010年度 上半期予想※	進捗率
情報機器	1,328	1,272	56	2,690	49%
オプト	352	340	12	710	50%
メディカル&グラフィック	210	237	△ 27	490	43%
その他事業	39	28	11	80	49%
HD他	18	17	0	30	
グループ計	1,947	1,894	52	4,000	49%

営業利益				[億円]	
	2010年度 1Q	2009年度 1Q	YoY	2010年度 上半期予想※	進捗率
情報機器	76	2	74	190	40%
(営業利益率)	5.8%	0.2%		7.1%	
オプト	51	17	34	90	57%
(営業利益率)	14.5%	4.9%		12.7%	
メディカル&グラフィック	△ 1	8	△ 9	5	-
(営業利益率)	-0.4%	3.5%		1.0%	
その他事業	5	△ 2	7	5	
HD他	△ 33	△ 31	△ 2	△ 80	41%
グループ計	98	△ 6	104	210	47%
(営業利益率)	5.1%	-0.3%		5.3%	

※その他事業：計測機器事業および産業用インクジェット事業

※上半期予想：2010年5月13日公表

2010年度業績予想(上半期・下半期)



[億円]

	2010年度 予想			2009年度	YoY
	上半期	下半期	通期		
売上高	4,000	4,300	8,300	8,045	255
営業利益	210	290	500	440	60
(営業利益率)	5.3%	6.7%	6.0%	5.5%	
経常利益	190	270	460	408	52
税前利益	150	235	385	361	24
当期純利益	80	120	200	169	31
(当期純利益率)	2.0%	2.8%	2.4%	2.1%	
設備投資額			550	369	181
減価償却費			650	612	38
研究開発費			800	685	115
FCF			200	729	△ 529
	※ 2Q以降の想定レート				
為替レート[円] USD			90.00	92.85	
Euro			110.00	131.15	

2010年度業績予想 セグメント別



KONICA MINOLTA

[億円]

売上高	2010年度 予想			2009年度	YoY
	上半期	下半期	通期		
情報機器	2,690	2,910	5,600	5,408	192
オプト	710	730	1,440	1,367	73
メディカル&グラフィック	490	530	1,020	1,044	△ 24
その他事業	80	90	170	145	25
HD他	30	40	70	81	△ 11
グループ計	4,000	4,300	8,300	8,045	255

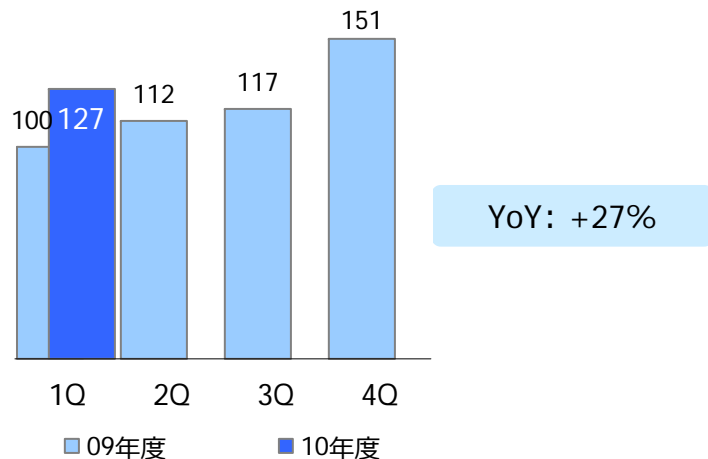
[億円]

営業利益	2010年度 予想			2009年度	YoY
	上半期	下半期	通期		
情報機器	190	250	440	390	50
(営業利益率)	7.1%	8.6%	7.9%	7.2%	
オプト	90	115	205	144	61
(営業利益率)	12.7%	15.8%	14.2%	10.5%	
メディカル&グラフィック	5	15	20	15	5
(営業利益率)	1.0%	2.8%	2.0%	1.4%	
その他事業	5	10	15	10	5
HD他	△ 80	△ 100	△ 180	△ 119	△ 61
グループ計	210	290	500	440	60
(営業利益率)	5.3%	6.7%	6.0%	5.5%	

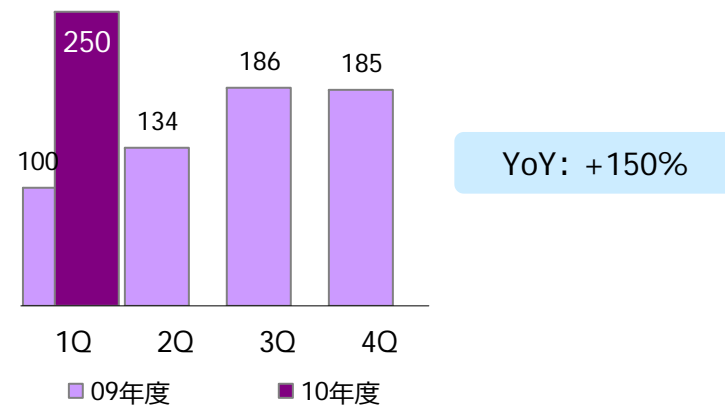
情報機器事業 主要製品販売状況



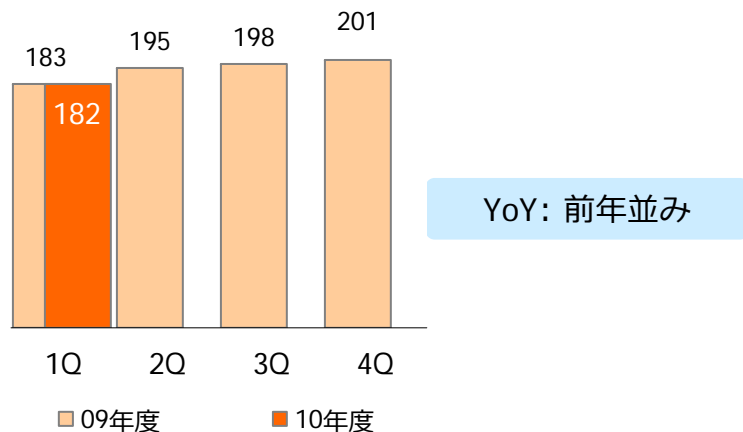
■ A3カラーMFP販売台数*



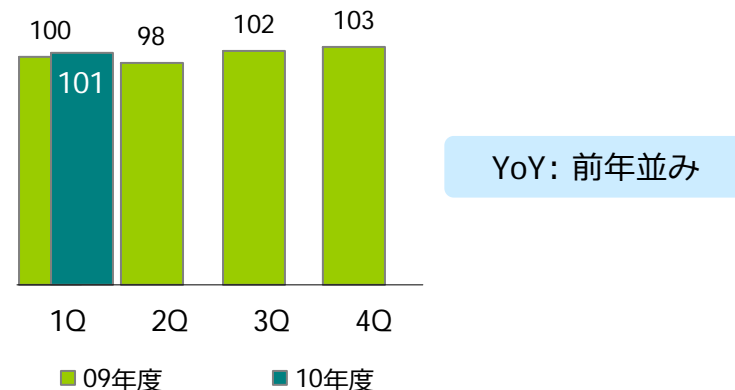
■ A4カラーMFP販売台数*



■ プロダクションプリント売上高 [億円]



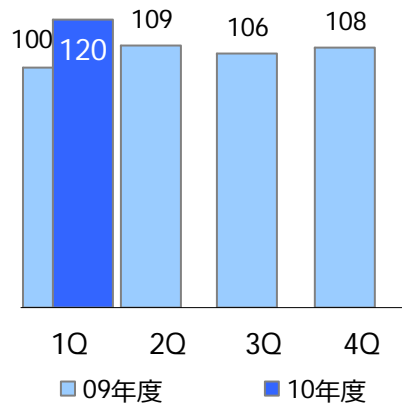
■ MFPノンハード売上 (主要5販売)* (為替影響排除後)



オプト事業 主要製品販売状況

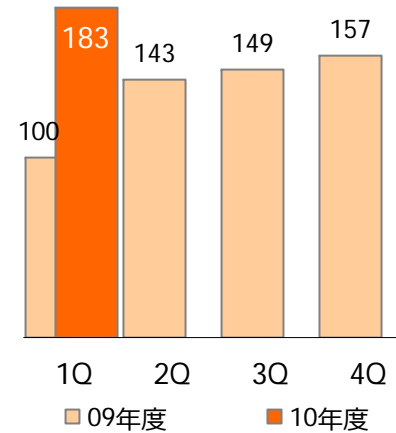


■ TACフィルム販売数量



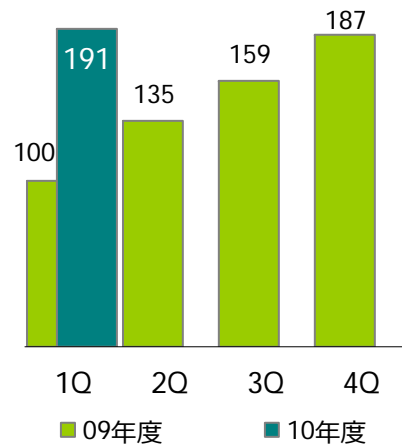
YoY: +20%

■ ピックアップレンズ販売数量



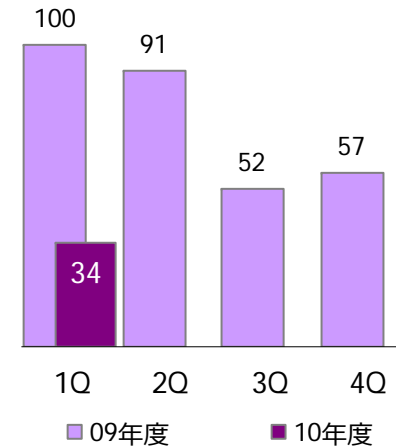
YoY: +83%

■ ガラスHD基板販売数量



YoY: +91%

■ 携帯電話用コンポーネント



YoY: △66%

営業利益増減分析



[億円]

前年同期比較 (2010年度1Q vs. 2009年度1Q)	情報機器	オプト	その他	合計
【要因】				
為替影響	△ 34	△ 4	△ 4	△ 42
価格変動	△ 46	△ 13	0	△ 59
数量増減他	139	52	△ 22	169
コストダウン	31	2	5	37
経費増減	△ 16	△ 2	16	△ 2
【営業利益】				
増減額 (YoY)	74	34	△ 4	104

販売管理費・営業外損益・特別損益



	[億円]		
	2010年度	2009年度	YoY
	10	10	
販売管理費			
販売変動費	105	89	16
研究開発費	171	177	△ 5
人件費	294	310	△ 16
その他	216	227	△ 11
販売管理費 計	786	803	△ 17
* 為替影響額:		△26億円(実質増減 9 億円)	
営業外収支			
金融収支	△ 3	△ 4	1
為替差損益	△ 26	14	△ 40
その他	△ 5	2	△ 7
営業外収支 計	△ 34	12	△ 46
特別損益			
固定資産売却損益	△ 3	△ 2	△ 1
投資有価証券および 関係会社株式評価・売却損益	△ 10	△ 2	△ 8
事業構造改善費用	△ 24	△ 8	△ 15
その他	△ 6	11	△ 17
特別損益 計	△ 42	△ 2	△ 40

貸借対照表



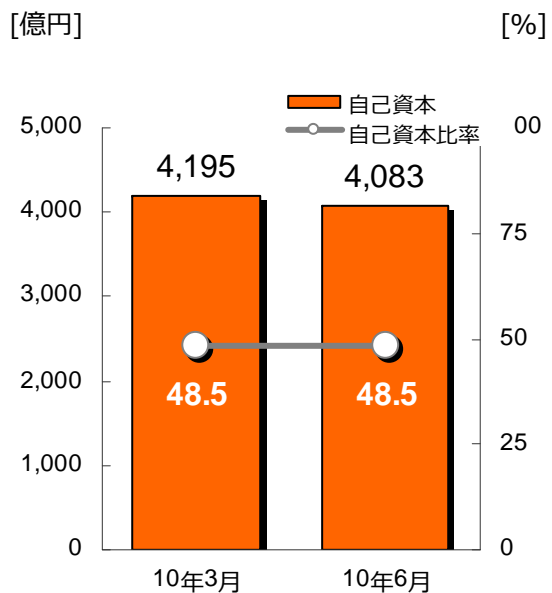
資産の部	[億円]		
	2010/06	2010/03	増減
手元資金	1,601	1,641	△ 40
売上債権	1,637	1,777	△ 140
棚卸資産	969	983	△ 13
その他	563	491	72
流動資産 計	4,771	4,893	△ 122
有形固定資産	2,008	2,051	△ 42
無形固定資産	941	991	△ 50
投資その他	700	724	△ 24
固定資産 計	3,649	3,765	△ 116
資産 合計	8,420	8,658	△ 238
負債および純資産の部			
仕入債務	854	831	22
有利子負債	1,949	1,974	△ 24
その他負債	1,521	1,645	△ 124
負債 合計	4,324	4,450	△ 126
自己資本 (株主資本+評価換算差額等)	4,083	4,195	△ 113
その他	13	12	1
純資産 合計	4,096	4,208	△ 112
負債・純資産 合計	8,420	8,658	△ 238

	[円]		
	2010/06	2010/03	増減
US\$	88.48	93.04	△ 4.56
Euro	107.81	124.92	△ 17.11

連結貸借対照表 主要指標

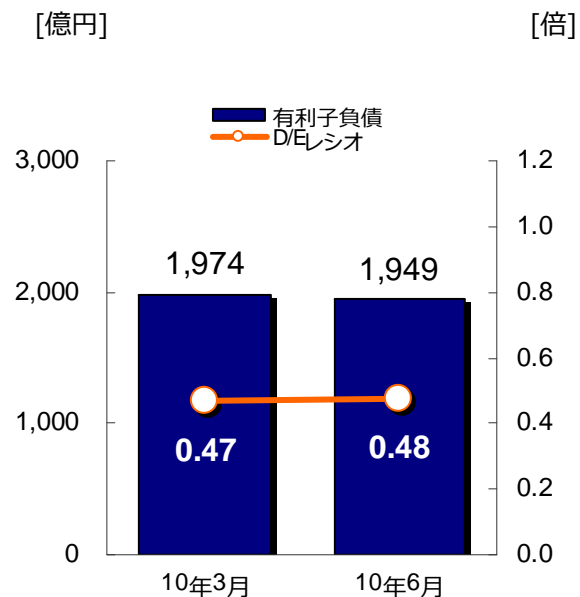


● 自己資本比率



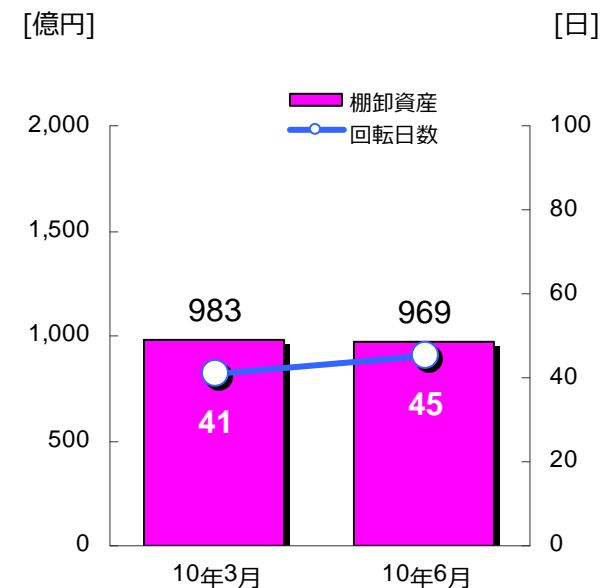
自己資本比率:
 自己資本 ÷ 期末総資産
 ※自己資本=期末株主資本 + 評価・換算差額合計

● 有利子負債残高・D/Eレシオ



D/Eレシオ:
 期末有利子負債 ÷ 自己資本
 ※自己資本=期末株主資本 + 評価・換算差額合計

● 棚卸資産・棚卸資産回転日数



棚卸資産回転日数:
 期末棚卸資産 ÷ (売上/日)

キャッシュ・フロー



	2010年度 1Q	2009年度 1Q	[億円] YoY
税金等調整前純利益	22	4	18
減価償却費	139	154	△ 15
法人税等の支払額	△ 14	△ 9	△ 5
運転資本増減他	△ 72	△ 6	△ 66
I. 営業活動によるキャッシュフロー	75	143	△ 68
II. 投資活動によるキャッシュフロー	△ 87	△ 91	4
I.+ II. FCF	△ 13	51	△ 64
有利子負債の増減	14	212	△ 198
配当金の支払額	△ 39	△ 53	14
その他	△ 3	△ 5	1
III. 財務活動によるキャッシュフロー	△ 28	154	△ 182

- 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想、将来予想は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。